

◎円借款の供与に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文

(略称) 中国との円借款取極

平成 四年 十月 六日 北京で
平成 四年 十月 六日 効力発生
平成 五年 八月 十七日 告示

(外務省告示第三八一号)

目次

ページ

日本側書簡	五二七
1 円借款の供与	五二七
2 借款契約の締結及び借款の条件	五二七
3 借款の対象	五二八
4 生産物又は役務の調達	五二八
5 借款、利子等の免税	五二九
6 日本国民の入国及び滞在に対する便宜供与	五二九
7 生産物の海上輸送	五二九
8 借款の適正使用等	五二九
9 計画の進捗状況 ^{ちよく} についての情報の提供	五二〇
10 協議	五二〇

事業計画表	五二一
中国側書簡	五二三
○解釈正文に関する書簡	五三〇
日本側書簡	五三〇
中国側書簡	五三一

(円借款の供与に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文)

(日本側書簡)

書簡をもって啓上いたします。本使は、中華人民共和国の経済の安定に寄与し経済近代化努力を促進することを目的として供与される日本国の借款に関して日本国政府の代表者と中華人民共和国政府の代表者との間で最近到達した次の了解を確認する光榮を有します。

1 千三百七十三億二千八百万円(一三七、三二八、〇〇〇、〇〇〇円)の額までの円貨による借款(以下「借款」という。)が、この書簡に附属する事業計画表に掲げる計画を実施するため、同事業計画表に定める各計画についての額に應じ、海外経済協力基金(以下「基金」という。)により、日本国の関係法令に従って、中華人民共和国政府に供与されることになる。中華人民共和国対外経済貿易部(以下「対外経済貿易部」という。)は、中華人民共和国政府により、中華人民共和国政府に代わって借款を受け入れ及び基金との間で借款契約に署名する権限を与えられる。

2 (1) 借款は、1 という計画のそれぞれにつき対外経済貿易部と基金との間で締結される借款契約に基づいて使用に供される。借款の条件及び使用に関する手続は、なかななく次の原則を含むことになる前記の借款契約によって規制される。

(a) 償還期間は、十年の据置期間の後二十年とする。

中国との円借款取極

借款の対
象生産物又
は役務の
調達

- (b) 利子率は、年二・六パーセントとする。
- (c) 支出期間は、この書簡に附属する事業計画表の10に掲げる計画については、関係借款契約の発効の日から七年とし、同事業計画表の1から9まで及び11から21までに掲げる計画については、関係借款契約の発効の日から五年とする。
- (2) (1)にいう借款契約の各々は、基金が当該借款契約に係る計画の実行可能性（環境に対する配慮を含む。）を確認した後、締結される。
- (3) (1)(c)にいう支出期間は、両政府の関係当局の同意を得て延長することができる。
- 3 (1) 借款は、中国の実施機関が調達適格国の供給者、請負業者又はコンサルタントに対して行う支払で、1にいう計画の実施に必要な生産物又は役務の購入のために両者の間で既に締結されたか又は締結されることのある契約に基づいて行われるものを対象として使用に供される。ただし、当該購入は、調達適格国において、それらの国で生産される生産物又はそれらの国から供給される役務について行われる。
- (2) (1)にいう調達適格国の範囲は、両政府の関係当局間で合意される。
- 4 中華人民共和国政府は、3(1)にいう生産物又は役務が基金の調達のためのガイドライン（国際入札の手続が適用できないか又は適当でない場合を除く）に従うべき国際入札の手続をなかつて定める。に從つて調達されるよう必要な措置を

とる。

5 中華人民共和国政府は、次のものを免除する。

(1) 基金について、借款及びそれから生ずる利子に対して又はそれらに関連して課される中国の財政課徴金又は租税

(2) 請負業者又はコンサルタントとして活動する日本国の会社について、1にいう計画の実施に必要な自己の建設機材の搬入及び搬出に関して課される中国の関税及び関連の財政課徴金

6 借款に基づいて行われる生産物又は役務の供給に関連して中華人民共和国においてその役務が必要とされる日本国民は、作業の遂行のため中華人民共和国への入国及び同国における滞在に必要な便宜を与えられる。

7 借款に基づいて購入される生産物の海上輸送に関し、千九百七十四年十一月十三日に東京で署名された日本国と中華人民共和国との間の海運協定及び千九百七十六年八月二十五日付けの海運業務に関する協議のための民間団体の設立等に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文に従い、両政府は、同交換公文にいう両国の海運企業の団体の間の協議が円滑かつ適時に行われるよう奨励する。

8 中華人民共和国政府は、次のことを確保するために必要な措置をとる。

(1) 借款が適正にかつ専ら3(1)にいう生産物又は役務を購入するために使用されること。

(2) 借款に基づいて建設される施設がこの了解に定められた目的のために適正にかつ効果的に維持され及び使用される

事業計画表

(限度額)

事業計画表	(限度額)
1 五強溪ダム建設計画(V)	五十億 円
2 渭河化学肥料工場建設計画(III)	百六十二億六千二百万円
3 内蒙古化学肥料工場建設計画(III)	八十三億八百万円
4 九省市電話網拡充計画(III)	百四十三億五千八百万円
5 民用航空管制システム近代化計画(III)	九十八億九千六百万円
6 神木・朔県鉄道建設計画(III)	十二億三千百万円
7 宝鶏・中衛鉄道建設計画(III)	百二十九億百万円
8 衡水・商丘鉄道建設計画(III)	四十九億五千百万円
9 深圳大鵬湾塩田港第一期建設計画(III)	三十三億七千七百万円
10 天生橋第一水力発電所建設計画(II)	六十六億八千三百万円
11 南寧・昆明鉄道建設計画(II)	九十九億四百万円
12 石臼港第二期建設計画(II)	三十五億八千三百万円
13 合肥・銅陵自動車道、銅陵道路橋建設計画(II)	三十八億九千四百万円
14 鹿寨化学肥料工場建設計画(II)	三十億六千九百万円
15 九江化学肥料工場建設計画(II)	八十七億千三百万円
16 北京市地下鉄第二期建設計画(II)	六十二億三千五百万円

中国との円借款取極

中国との円借款取極

17	湖北鄂州火力発電所建設計画 (I)	四 十 億 円
18	連雲港墟溝港区第一期建設計画	五 十 九 億 円
19	秦皇島戊己バス建設計画(I)	三 十 四 億 千 八 百 万 円
20	チチハル嫩江大橋建設計画	二 十 一 億 円
21	北京・瀋陽・ハルビン長距離電 話網建設計画(I)	三 十 一 億 四 千 五 百 万 円

(中国側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

(中方照会)

日本国駐中华人民共和国特命全权大使桥本恕閣下
閣下：

我谨收到閣下今日的照会，内容如下：

“我谨确认，日本国政府代表和中华人民共和国政府代表，最近就有关旨在增进中华人民共和国经济稳定和促进经济现代化的努力而提供的日本国贷款，达成如下谅解：

一、根据日本国的有关法律和规章，海外经济协力基金（以下简称“基金”），将向中华人民共和国政府提供不超过一千三百七十三亿二千八百万日元（¥137,328,000,000）数额的日元贷款（以下简称“贷款”），以便按照所附项目表规定的每个项目的金额实施该项目表开列的各个项目，中华人民共和国政府授权中华人民共和国对外经济贸易部（以下简称“对外经济贸易部”）代表中华人民共和国政府接受“贷款”，并与“基金”签订贷款协议。

二、（一）“贷款”将根据“对外经济贸易部”和“基金”就第一款提到的每个项目所签订的贷款协议予以提供。“贷款”的条件及其使用程序将受上述贷款协议的制约。这些协议将特别包括以下原则：

1、偿还期为十（10）年宽限期之后的二十（20）年；

2、年利率为百分之二点六（2.6%）；

3、所附项目表中提到的第10项目的支付期为从有关贷款协议生效之日起七（7）年，该项目表中提到的第1至第9和第11至第21项目的支付期为从有关贷款协议生效之日起五（5）年。

（二）上述第（一）项中提到的各项贷款协议，将在“基金”对同贷款协议有关的项目认为实际可行（包括对环境的考虑）后，予以缔结。

（三）上述第（一）项第3目中提到的支付期，经两国政府有关当局同意可予延长。

三、（一）“贷款”将为中国的执行机构根据他们同有资格来源国的供应厂商、承包商和（或）顾问为了实施第一款提到的项目所需要购买产品和（或）服务而已经签订或可能签订的合同，向这些厂商、承包商和（或）顾问支付而提供，但此项购买是以在有资格来源国里为采购该国生产的产品，和（或）从这些国家提供服务者为限。

（二）上述第（一）项提到的有资格来源国的范围将由两国政府的有关当局达成协议。

四、中华人民共和国政府将采取必要措施，按照“基金”关于采购的指导原则购得上述第三款第（一）项提到的产品和（或）服务。这些原则特别规定了应予遵循的国际投标手续，但不能适用或不适合者除外。

五、中华人民共和国政府将免除：

(一)“基金”对关于“贷款”和由此产生的利息而由中国征收的财政税捐或税款；和

(二)作为承包商或顾问的日本国公司，为实施第一款提到的项目需要带入和带出他们自备的施工设备，而由中国征收的关税和有关的财政收费。

六、根据“贷款”有关供应产品和(或)提供服务而需在中华人民共和国工作的日本国国民，为执行其工作而进入和在中华人民共和国居留，将给予必要方便。

七、关于根据“贷款”购买的产品的海上运输问题，两国政府将按照一九七四年十一月十三日在东京签订的中华人民共和国和日本国海运协定，和一九七六年八月二十五日两国政府关于为协商海运服务而建立民间组织和其它有关事宜的换文，鼓励在该换文中提到的两国海运公司组织间进行顺利和适时的协商。

八、中华人民共和国政府将采取必要措施以确保：

(一)“贷款”的使用仅限于适当购买第三款第(一)项提到的产品和(或)服务。

(二)按照这项谅解所述的目的，适当而有效地维持和使用根据“贷款”建设的设施。

九、中华人民共和国政府将根据请求，向日本国政府提供在第一款中提到的项目的有关进展情况的消息。

本官は、更に、閣下の書簡に述べられた了解を中華人民共和国政府に代わって確認する光栄を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かって敬意を表します。

千九百九十二年十月六日に北京で

中華人民共和国
外交部副部長 徐 敦 信

中華人民共和国駐在
日本国特命全權大使 橋本 恕閣下

十、两国政府将随时共同检查“贷款”的实施进展情况，以及采取必要的措施，以确保“贷款”的顺利和有效的使用，并就上述谅解可能产生的任何问题或者有关事项另外进行相互磋商。

如蒙阁下代表中华人民共和国政府确认以上谅解，我将不胜感激。

我谨代表中华人民共和国政府确认阁下照会中提出的谅解。

顺致最崇高的敬意。

中华人民共和国外交部副部长
徐 敦 信

一九九二年十月六日于北京

项 目 表

(限 额)

1. 五强溪水库建设项目 (五) 五十四亿日元
2. 渭河化学肥料厂建设项目 (三) 一百六十二亿六千二百万日元
3. 内蒙古化学肥料厂建设项目 (三) 八十三亿零八百万日元
4. 九省市电话网扩建项目 (三) 一百四十三亿五千八百万日元
5. 民用航空管制系统现代化项目 (三) 九十八亿九千六百万日元
6. 神木—朔县铁路建设项目 (三) 十二亿三千一百万日元
7. 宝鸡—中卫铁路建设项目 (三) 一百二十九亿零一百万日元
8. 衡水—商丘铁路建设项目 (三) 四十九亿五千一百万日元

9. 深圳大鹏湾盐田港第一期建设项目(三)	三十三亿七千七百万日元
10. 天生桥一级水电站建设项目(二)	六十六亿八千三百万日元
11. 南宁—昆明铁路建设项目(二)	九十九亿零四百万日元
12. 石臼港二期建设项目(二)	三十五亿八千三百万日元
13. 合肥—铜陵公路及铜陵公路桥建设项目(二)	三十八亿九千四百万日元
14. 鹿寨化学肥料厂建设项目(二)	三十亿六千九百万日元
15. 九江化学肥料厂建设项目(二)	八十七亿一千三百万日元

16. 北京市地下铁道二期建设项目(二)	六十二亿三千五百万日元
17. 湖北鄂州火电站建设项目(一)	四十亿日元
18. 连云港墟沟港区一期建设项目	五十九亿日元
19. 秦皇岛港戊己码头建设项目(一)	三十四亿一千八百万日元
20. 齐齐哈尔嫩江公路大桥建设项目	二十一亿日元
21. 北京·沈阳·哈尔滨通信干线系统项目(一)	三十一亿四千五百万日元”

(解釈正文に関する書簡)

(日本側書簡)

書簡をもって啓上いたします。本使は、中華人民共和国の経済の安定に寄与し経済近代化努力を促進することを目的として供与される日本国の借款に関する本日付けの交換公文に関し、日本語、中国語及び英語により作成された同交換公文の解釈に相違がある場合には英語の本文によるものとすることを日本国政府に代わって提案する光栄を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

千九百九十二年十月六日に北京で

中華人民共和国駐在

日本国特命全権大使 橋本 恕

中華人民共和国

外交部副部長 徐 敦 信閣下

(中国側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

本官は、更に、中華人民共和国政府に代わって、閣下の書簡に述べられた提案に同意する光栄を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

千九百九十二年十月六日に北京で

中華人民共和国

外交部副部長 徐 敦 信

中華人民共和国駐在

日本国特命全權大使 橋本 恕閣下

中国との円借款取極

(中方函件)

日本国駐中華人民共和国特命全權大使橋本恕閣下
閣下：

我謹收到閣下今日來函，內容如下：

“我謹就今天有关旨在增进中華人民共和国经济稳定和促进经济现代化的努力而提供的日本国贷款的換文，代表日本国政府建议：上述用日文、中文和英文写成的換文，如果在解释上发生分歧，应以英文本为准。”

我謹代表中華人民共和国政府同意閣下來函中提出的建议。

順致最崇高的敬意。

中華人民共和国外交部副部長

徐 敦 信

一九九二年十月六日于北京

(Japanese Note)

Beijing, October 6, 1992

Excellency,

I have the honour to confirm the following understanding recently reached between the representatives of the Government of Japan and of the Government of the People's Republic of China concerning a Japanese loan to be extended with a view to contributing to the economic stabilization and promoting the economic modernization efforts of the People's Republic of China:

1. A loan in Japanese Yen up to the amount of one hundred and thirty-seven billion three hundred and twenty-eight million yen (#137,328,000,000) (hereinafter referred to as "the Loan") will be extended, in accordance with the relevant laws and regulations of Japan, to the Government of the People's Republic of China by the Overseas Economic Cooperation Fund (hereinafter referred to as "the Fund") to implement the projects listed in the Project List attached hereto, according to the amount for each project as specified in the said Project List. The Ministry of Foreign Economic Relations and Trade of the People's Republic of China (hereinafter referred to as "the Ministry") is authorized by the Government of the People's Republic of China to accept the Loan and sign the loan agreements with the Fund on behalf of the Government of the People's Republic of China.
2. (1) The Loan will be made available by loan agreements to be concluded for each of the projects mentioned in paragraph 1 between the Ministry and the Fund. The terms and conditions

of the Loan as well as the procedures for its utilization will be governed by the said loan agreements which will contain, inter alia, the following principles:

- (a) The repayment period will be twenty (20) years after the grace period of ten (10) years.
- (b) The rate of interest will be two point six (2.6) per cent per annum.
- (c) The disbursement period will be seven (7) years with regard to the project mentioned in 10 of the Project List attached hereto, and five (5) years with regard to the projects mentioned in 1 to 9 and 11 to 21 of the said Project List from the date of coming into force of the relevant loan agreement.
- (2) Each of the loan agreements mentioned in sub-paragraph (1) above will be concluded after the Fund is satisfied of the feasibility, including environmental consideration, of the project to which such loan agreement relates.
- (3) The disbursement period mentioned in sub-paragraph (1) (c) above may be extended, with the consent of the authorities concerned of the two Governments.
3. (1) The Loan will be made available to cover payments to be made by Chinese executing agencies to suppliers, contractors and/or consultants of eligible source countries under such contracts as have been or may be entered into between them for purchases of products and/or services to be required for the implementation of the projects mentioned in paragraph 1, provided that such purchases are made in such eligible source countries for products produced in and/or services supplied from those countries.

(2) The scope of eligible source countries mentioned in sub-paragraph (1) above will be agreed upon between the authorities concerned of the two Governments.

4. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures for products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3 to be procured in accordance with the guidelines for procurement of the Fund, which set forth, inter alia, the procedures of international tendering to be followed except where such procedures are inapplicable or inappropriate.

5. The Government of the People's Republic of China will exempt:

(1) The Fund from Chinese fiscal levies or taxes on and/or in connection with the loan as well as interest accruing therefrom; and

(2) Japanese companies operating as contractors and/or consultants from Chinese duties and related fiscal charges with respect to the bringing-in and bringing-out of their own construction equipment needed for the implementation of the projects mentioned in paragraph 1.

6. Japanese nationals whose services may be required in the People's Republic of China in connection with the supply of products and/or services to be provided under the loan will be accorded such facilities as may be necessary for their entry into the People's Republic of China and stay therein for the performance of their work.

7. With regard to the shipping of products purchased under the loan, the two Governments will, in accordance with the Agreement on Maritime Transport between Japan and the People's Republic of China signed at Tokyo on

November 13, 1974 and the Exchange of Notes between the two Governments dated August 25, 1976, concerning the establishment of private organizations for the consultation on shipping service and other related matters, encourage smooth and timely consultations between the organizations of shipping companies of the two countries referred to in the said Exchange of Notes.

8. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures to ensure that:

(1) the loan be used properly and exclusively for purchases of products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3; and

(2) the facilities constructed under the loan be maintained and used properly and effectively for the purposes prescribed in this understanding.

9. The Government of the People's Republic of China will, upon request, furnish the Government of Japan with information on the progress of the projects mentioned in paragraph 1.

10. The two Governments will jointly review from time to time the progress of the implementation of the loan and take measures necessary to secure smooth and effective utilization of the loan and otherwise consult with each other in respect of any matter that may arise from or in connection with the foregoing understanding.

I should be grateful if Your Excellency would confirm the foregoing understanding on behalf of the Government of the People's Republic of China.

I avail myself of this opportunity to extend to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Hiroshi Hashimoto
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan
to the People's Republic of China

His Excellency
Mr. Xu Dunxin
Vice-Minister of Foreign Affairs
of the People's Republic of China

Project List

(Maximum amount
in million yen)

- | | |
|--|--------|
| 1. Wugiangxi Dam Construction Project (V) | 5,400 |
| 2. Weihe Chemical Fertilizer Plant Construction Project (III) | 16,262 |
| 3. Inner Mongolia Chemical Fertilizer Plant Construction Project (III) | 8,308 |
| 4. 9 Provinces and Cities Telecommunication Network Expansion Project (III) | 14,358 |
| 5. Air Navigation and Air Traffic Control System Modernization Project (III) | 9,896 |
| 6. Shennu-Shuoxian Railway Construction Project (III) | 1,231 |
| 7. Baoji-Zhongwei Railway Construction Project (III) | 12,901 |
| 8. Hengshui-Shangqiu Railway Construction Project (III) | 4,951 |
| 9. Shenzhen Dapeng Bay Yantian Port 1st phase Construction Project (III) | 3,377 |
| 10. Tianshengqiao First Hydroelectric Power Project (II) | 6,683 |

11. Nanning-Kunming Railway Construction Project (II)	9,904
12. Shijiu Port 2nd phase Construction Project (II)	3,583
13. Hefei-Tongling Highway and Tongling Road Bridge Construction Project (II)	3,894
14. Luzhai Chemical Fertilizer Plant Construction Project (II)	3,069
15. Jiutiang Chemical Fertilizer Plant Construction Project (II)	8,713
16. Beijing Subway 2nd phase Construction Project (II)	6,235
17. Hubei Ezhou Thermal Power Plant Project (I)	4,000
18. Lianyungang Port Xugou Area First Phase Construction Project	5,900
19. Qinhuangdao Port E and F Berths Construction Project (I)	3,418
20. Qiqihar Nenjiang River Highway Bridge Construction Project	2,100
21. Beijing-Shenyang-Harbin Telecommunication Systems Project (I)	3,145

中国への日借款取極

(Chinese Note)

Beijing, October 6, 1992

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of the People's Republic of China the understanding set forth in Your Excellency's Note.

I avail myself of this opportunity to extend to Your Excellency the assurances of my highest consideration.

(Signed) Xu Dunxin
Vice-Minister of Foreign Affairs
of the People's Republic of China

His Excellency
Mr. Hiroshi Hashimoto
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan
to the People's Republic of China

日三三

(Japanese Letter)

Beijing, October 6, 1992

Excellency,

With reference to the Exchange of Notes dated today concerning a Japanese loan to be extended with a view to contributing to the economic stabilization and promoting the economic modernization efforts of the People's Republic of China, I have the honour to propose, on behalf of the Government of Japan, that in case there is any divergence of interpretation of the said Exchange of Notes which is done in the Japanese, Chinese and English languages, the English text shall prevail.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Hiroshi Hashimoto
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan
to the People's Republic of China

His Excellency
Mr. Xu Dunxin
Vice-Minister of Foreign Affairs
of the People's Republic of China

(Chinese Letter)

Beijing, October 6, 1992

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Letter of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Letter)"

I have further the honour to express agreement, on behalf of the Government of the People's Republic of China, to the proposal put forward in Your Excellency's Letter.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurances of my highest consideration.

(Signed) Xu Dunxin
Vice-Minister of Foreign Affairs
of the People's Republic of China

His Excellency
Mr. Hiroshi Hashimoto
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan
to the People's Republic of China

(参考)

この取極は、海外経済協力基金が中国政府に対し、千三百七十三億二千八百万円までの円借款を
供与することについての両政府の了解を確認したものである。